

## 日本混相流学会 2008 年度第 2 回理事会・議事録

日時：平成 20 年 10 月 4 日(土)13:00-17:00

場所：産業技術総合研究所 秋葉原サイト大会議室

出席者(理事)：矢部彰(会長)、社河内敏彦(筆頭副会長)、上野隆司(副会長)、阿部豊(副会長)、道奥康治(情報部会長)、齋藤隆之(企画部会長)、石井俊夫(国際部会長)、竹村文男(総務部会長)、高曾徹(九州地区担当理事)、永橋優純(中国・四国地区担当理事)、梅川尚嗣(関西地区担当理事)、佐藤恵一(北陸・信越地区担当理事)、杉山弘(北海道地区担当理事)

出席者(オブザーバー)：佐田富道雄(年会講演会・混相流シンポジウム実行委員長兼論文審査委員長)、功刀資彰(混相流技術リエゾン専門委員長)、近藤健(事務局)

## 議題と配布資料：

- |                                       |                |
|---------------------------------------|----------------|
| 1. 前回議事録の確認                           | [資料 2008-2-01] |
| 2. 各種委員会委員名簿の確認                       | [資料 2008-2-02] |
| 3. 地区代表と監事候補の選出                       | [資料 2008-2-03] |
| 4. 情報部会関連報告                           | [資料 2008-2-04] |
| (編集委員会、ICeM 関連、投稿規程の見直し、精選論文集他)       |                |
| 5. 企画部会関連報告                           | [資料 2008-2-05] |
| (レクチャーシリーズ、リエゾン、研究企画委員会、学生会、学生優秀講演賞他) |                |
| 6. 国際部会報告                             | [資料 2008-2-06] |
| 7. 総務部会報告(年会決算、本年度予算他)                | [資料 2008-2-07] |
| 8. その他                                |                |
| 2009 年会講演会準備状況                        | [資料 2008-2-08] |
| 2010 年会講演会開催地について                     | [資料 2008-2-09] |
| 事務局委託費に関して                            | [資料 2008-2-10] |
| 会計報告について                              | [資料 2008-2-11] |
| 平成 20 年 12 月 1 日施行新非営利法人制度について        | [資料 2008-2-12] |
| 名簿発行について                              |                |

## 議事：

1. 前回議事録の確認
  - ・竹村総務部会長から資料 2008-2-01 に基づき 2008 年度第 1 回議事録の確認があった。
2. 各種委員会委員名簿の確認
  - ・竹村総務部会長から資料 2008-2-02 に基づき各種委員会の委員名簿の確認があった。功刀混相流技術リエゾン専門委員長より混相流技術リエゾン専門委員会に大成委員、村井委員、西山委員が新たに加わったことが報告された。

### 3. 地区代表と監事候補の選出

- ・竹村総務部会長から資料 2008-2-03 に基づき、北海道地区の地区代表に奈良林氏が、関東地区の地区代表に内藤氏が就任されることが説明され、承認された。
- ・新たな監事については、社河内筆頭副会長が引き続き調整を担当することとした。
- ・評議員、監事選挙までのスケジュールおよび選挙手順を竹村総務部会長より再度確認することとした。

### 4. 情報部会関連報告

- ・道奥情報部会長より、資料 2008-2-04 に基づき、第一回編集委員会の報告がなされた。修士・博士論文タイトルについては道奥情報部会長と梅川学生会担当理事が担当することが確認された。また、年会キ-ノ-トレクチャーの精選論文集での取り扱いについて、次回年会より対象外とすることが確認された。
- ・阿部副会長より ICeM News Letter の今後の取り扱いについて資料 2008-2-04 に基づき、説明された。編集代表者は新たな人をお願いするが、情報収集等は編集委員会の協力を得ることが可能であるとのこと。また、郵送配布等の事業は終了し、Homepage に全面移行する方向が良いのではとのこと。引き続き阿部副会長が調整を担当することとした。
- ・佐田富論文審査委員長より資料 2008-2-04 に基づき、投稿規定の一部改定についての提案が説明され、了承された。12月の会告に掲載するとともに Homepage でも周知することを確認した。
- ・佐田富論文審査委員長より資料 2008-2-04 に基づき、論文精選集の作成までのマニュアルについての提案があり、その説明および議論の後、承認された。

### 5. 企画部会関連報告

- ・齋藤企画部会長より資料 2008-2-05 に基づき、レクチャーシリーズの開催についての報告があった。
- ・功刀混相流技術リエゾン専門委員長より資料 2008-2-05 に基づき、リエゾン技術委員会の活動方針と構成案について説明があった。当面、二つの分科会の活動を中心にするということが報告された。
- ・齋藤企画部会長より資料 2008-2-05 に基づき、会津大学で行われた企画委員会の報告とともに、企画委員会分科会活動費の増額についての要望がなされた。議論の結果、学会財政の状態を鑑み今回は増額を見送ることとした。
- ・梅川学生会担当理事より資料 2008-2-05 に基づき、学生会活動状況報告があった。2008 年度夏季セミナー活動および決算報告、2009 年度夏季セミナーの準備状況、2008 年度学生優秀講演賞審査結果について説明があった。また、学生優秀講演賞に関する内規の修正案がなされ、承認された。検討事項として、複数回受賞を許容するかについて意見交換され、今後は複数回はなしということで意見がまとまった。

### 6. 国際部会報告

- ・石井国際部会長より資料 2008-2-06 に基づき、インターナショナルレクチャーコースの企画補助や ICMF 委員会への協力など 2008 年度事業計画について説明があった。

### 7. 総務部会報告

- ・竹村総務部会長より資料 2008-2-07 に基づき、2008 年会講演会の暫定収支決算報告と 2008 年度予算についての説明があった。

### 8. その他

- (1) 佐田富年会講演会・混相流シンポジウム実行委員長より資料 2008-2-08 に基づき、2009 年会講演会ならびに第 28 回混相流シンポジウム準備状況について報告があった。会場の都合により初日は KKR 熊本で、2 日目以降は熊本大学で行われるとのこと。また、講演発表募集案について説明がなされた。
- (2) 竹村総務部会長より資料 2008-2-09 に基づき、2010 年会講演会開催地決定のルールについて説明がなされた。齋藤企画部会長に東海地区での開催を検討していただくこととした。
- (3) 近藤事務局長より資料 2008-2-10 に基づき、事務局委託費に関して説明があった。今後の法人改革に向けて事務局経費の増大が見込まれることから、事務局の強化に向けて今後も継続的に審議することとした。
- (4) 矢部会長より資料 2008-2-11 に基づき、学会財務諸表について説明があった。他学会の例を参考に適正妥当な財務諸表の作成の仕方の説明があった。当学会の会計報告において不足している点、基本的な収益事業はできないこと、収益に対しては課税対象となること、数年に一度の税務署対応のためには

事務局の強化が必要などの説明があった。当学会においても今年度決算までに新しい財務諸表を作成することを目指すこととし、事務局にそのための調査を依頼した。

(5) 社河内筆頭副会長より資料 2008-2-12 に基づき、平成 20 年 12 月 1 日施行新非営利法人制度について概要の報告があった。今回の改革は課税が目的であること、財務書類をしっかりとしたものが必要があることなどが説明された。当学会は任意団体であるが、一般社団法人に向けた検討を今後も審議することとした。

(6) 上野副会長より別添の資料に基づき、名簿に関する説明があった。現状および現状の不具合、名簿作成の危険性について説明があった。名簿情報は必要だが、アクセス権など個人情報保護の視点に立った基本方針のもと、今後も継続的に審議することとした。

(7) 近藤事務局長より別添資料に基づき、入会者と退会希望者、会費未納者について報告があった。退会希望者については慰留に努め、会費未納者には支払いの催促を引き続き行うことを確認した。

以上

総務委員長：竹村文男